

1.法人の概要

【法人名】 学校法人 津 曲 学 園

【設立年月日】 大正 12 年 4 月 1 日

【目 的】 教育基本法及び学校教育法に従い、学校教育を行い、地域と時代の要請に応じる人材を育成すること

【理事長名】 永 田 治 雄

【法人の位置】 鹿児島市城西 3 丁目 8 - 9

【設置学校】

鹿児島国際大学	(〒891-0197	鹿児島市坂之上 8 丁目 34-1)
鹿児島国際大学短期大学部	(〒891-0197	鹿児島市坂之上 8 丁目 34-1)
鹿児島高等学校	(〒890-0042	鹿児島市薬師 1 丁目 21-9)
鹿児島修学館高等学校	(〒890-0023	鹿児島市永吉 2 丁目 9-1)
鹿児島修学館中学校	(〒890-0023	鹿児島市永吉 2 丁目 9-1)
鹿児島幼稚園	(〒891-0145	鹿児島市錦江台 1 丁目 20-1)

【設立目的】

津曲学園創立の陰には「母の願い」があります。学園創立当時の、創立者の貞助翁の家は県立第一高等女学校近くにありました。毎春入学試験合格発表当日、不合格となり落涙して帰る娘たちを目のあたりにし、胸を痛めていた貞助翁の母は、その都度女学校が増えることを願いました。

一方明治以降、本県の教育は、その底流に官民尊卑・男尊女卑・士農工商の三つの風土的な特徴をもっていました。日頃からこれを憂慮していた貞助翁は敢然としてこの風潮に抗し、大正 11 年 12 月 12 日、私学振興をめざし「東西文化の融合」と「上下一貫教育」を目標とした「津曲学園建学主旨」を世に発表し、女子教育普及をかかげて高等女学校を設立。次いで経済社会の発展を担う経済人養成をめざし、九州では私学として最初の高等商業学校を設立しました。

母の願いは実り、ここに新しい時代に即した、南日本の教育の殿堂が生まれたのです。

その後、戦争中における入学者の減少、空襲による校舎の壊滅、戦後における学制改革や財政的窮乏など、幾多の苦難を教職員とともに乗り越えてきました学園は、今日では、鹿児島国際大学・鹿児島国際大学短期大学部・鹿児島高等学校・鹿児島修学館高等学校・鹿児島修学館中学校・鹿児島幼稚園の 6 校を擁し、学生・生徒・園児数 6,300 人、教職員 800 人、卒業生総数 125,902 人に達します九州でも有数の学園に成長しています。